

## 講演会のご案内

# 赤松小三郎と勝海舟

2021  
12月12日  
(日)

赤松小三郎 ～幕末に誰よりも早く日本近代化のグランドデザインを描いた男～



赤松小三郎  
上田市立博物館蔵

幕末、信州上田藩士赤松小三郎は、京都で開いた洋学塾などで多くの英才を育てるとともに、わが国の近代化に向けてのグランドデザインを描きその実現に力を尽くしました。

残念ながら、赤松は、1867年（慶応3年）37歳で志半ばにして暗殺されましたが、その先進的な政治思想と優れた洋学の教えは日本の近代化に大きく貢献しました。

当研究会では、今回、歴史家で幕末史に詳しく、数多くの本を著されている安藤優一郎氏をお迎えし、「赤松小三郎と勝海舟」についてお話をお伺いします。



勝海舟  
提供 大田区立勝海舟記念館

日時：2021年12月12日（日） 講演 14:00～16:30（受付開始 13:30）

会場：日比谷図書文化館 地下1階コンベンションホール（裏面案内図ご参照）

参加費：1,000円（当日会場受付にて申し受けます）

対象：幕末の歴史にご興味ある方であれば、どなたでも大歓迎です

定員：100名（先着順 お早めにお申し込みください）

## 講師 安藤優一郎氏 略歴



1965年（昭和40年）千葉県生まれ。歴史家。早稲田大学文学研究科博士後期課程満期退学。文学博士（早稲田大学）。江戸をテーマとする執筆・講演活動を展開。

JR東日本大人の休日倶楽部趣味の会などの生涯学習講座の講師を務める。『お殿様の人事異動』（日経プレミアシリーズ）、『明治維新 隠された真実』『河井継之助』（日本経済新聞出版社）など著書多数。

## 講師からひとこと

赤松小三郎の師は、坂本龍馬の師でもあった幕臣勝海舟でした。海舟は薩摩藩をはじめ諸藩に幅広い人脈を持っていましたが、赤松も同じです。

海舟の場合は、その人脈が先進的な思想形成の基盤となりましたが、そうした事情は赤松にもあてはまりません。今回の講演では師弟にあたる海舟と赤松の生きざまを重ね合わせることで、どのような人脈のもと赤松の先進的な思想が形成されていったかを明らかにします。

お申込は

赤松小三郎研究会事務局（Eメールで事前のお申し込みをお願いいたします）

Eメール：[kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp](mailto:kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp)

（お名前、ご住所、本講演会をお知りになったきっかけなどご記入ください）

Eメールをご利用できない場合：電話：070-2685-2384（事務局 小山）

（提供いただく個人情報は講演会の案内などの目的で適正に取扱うとともに、目的外利用はいたしません）

主催 上田高等学校関東同窓会赤松小三郎研究会